

2024年4月23日

さいたま市テニス協会

総会の出欠返信ハガキの「御意見、御要望」に何件か記載がありました。それらのうち、協会の見解をお伝えするのがよいと考えた御意見等につきましては、会員の皆様にも共有いただきたく、回答とあわせて下記に記します。

なお、御意見等は、そのままではなく、類似のものをまとめた形で掲載しているものもあります。

Q1：与野中央や三橋公園のコートは試合におさえられないか？大和田テニスコートを試合会場にして欲しい。

A：さいたま市のみどり公園推進部が、全テニスコートの年間スケジュールを、管理していて、毎年の硬式テニスの大会日程数、会場は固定されて新規に増大させることは不可となっている。毎年コート使用は主にソフトテニス、高体連、中体連の利用団体とその他一般貸出の全体バランスを維持することで規制されていて、現状が限界。

Q2：オムニコートだからと言って、雨の中、大会を進行するのはもう少し考えてほしい

A：大会環境の向上を協会長期ビジョンの課題としてその一つに悪天候時の大会中断は一つの課題である。大会の余裕ある予備日を充実させることで、できるだけ悪天候時の大会延期を促進する方向で進める。

Q3：＜シングルの大会について＞さいたま市 A クラスとベテラン県大会の日程がよくバッティングするので、どうにかならないか？それが理由でエントリーしない人が多い(A クラス)

A：市民大会の日程を決める際に、県大会との日程がかぶらないように極力調整、配慮している。しかし、物理的にどうしてもそれぞれの限定された日程での調整により、限界はあり現状が限界で、ご理解いただきたい。

Q4：当サークルでは県大会に出場できるレベルの方は数名ですが、他市の大会にも参戦されている方も多く、県大会に出場することが目的ではないのに他市の大会に参加することに制限があるのか問い合わせが多くある。

A：県協会より県大会推薦は重複して推薦を受けることはできないとあり、さいたま市もS、T登録を徹底しさいたま市から県大会を目指す人への推薦を重視している。市民大会参加規程を確認いただく。

Q 5：シングルスにも平日ビギナー大会があったら良いなという声を聞く

A：平日ビギナーは女性参加者の拡大を目的とした試行大会で、盛況な反応は出ていて、種目や参加枠の拡大は、やはり年間のコートスケジュールの確保が課題。継続検討してゆく。

Q 6：春のダブル戦、家族サービス等で参加したくても参加できない方も多くいる。出来るなら5月のゴールデンウィーク以外での規格を、お願いしたい。実際6名のメンバーが不参加になっており、今一度、考え直して頂きますよう

A：限られた期間のコートスケジュールであり、また予備日の充実も図ることからの現行の日程となっており、GW回避の案を継続検討してゆく。

Q 7：大会スケジュール(日程)がより見やすくなると良いと思います。

A：日程表記方法をできるだけ空白が出ず見やすくするよう改善してゆく。

Q 8：大会毎のドロ－数を最初から設定しておき、無理して荒川南コートなど状態の悪いコートを無理して使用しない運営をお願いしたい

A：協会としては折角、さいたま市民大会へ参加希望された方は、全員参加できる様努めている。荒川南は他の会場へシフトして、極力使用を減らしてゆく方向で進めてゆく。

Q 9：市民大会ベテランの部で、西遊馬を利用することは非常に危険であり、不便でもあるためやめていただきたい

A：できる限り、ベテランの試合はハードコートを使わない方向で組んでいるが、他に種目の参加数や日程制約により、やむを得ない場合もあり、やむを得ない場合があることをご理解いただきたい。

Q 10：今年からシングルスで OP を取り入れましたが、コートの空きがでないような時間設定をお願いしたい。

A：今までより控えの選手も多く受付していただく方向で進めてゆき、その分控えでの待ち時間を持つことにもなるが、ご承知のほどお願いしたい。

以上